



米粒サイズのシオマネキの稚ガニ。(撮影：幸田祐哉) 吉野川では、シオマネキの生活史を目のあたりにできる

日本最大級の汽水域と河口干潟を誇る吉野川

河口の川幅1300m、県庁所在地のすぐ隣にあって、広大な河口干潟が奇跡的に残されています。シギ・チドリ類など多くの渡り鳥の中継地であり、日本で初めて、東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップ EAAFP (East Asian - Australasian Flyway Partnership) に参加しています。また、シオマネキをはじめ多種多様な貴重種が生息し、ラムサール条約の国際基準を満たす国際的にも重要な湿地です。さらに、子どもたちの環境教育の絶好の場所として、漁業、農業など暮らしを支えています。



面積100haの河口干潟



日本一の生産量を誇るスジアオノリの養殖風景 (撮影：高田嘉男)



シラスウナギ産地の風流は冬の風物詩 (撮影：中津道一)
シラスウナギ漁は吉野川が健全な生態系が維持されている証跡である。



干潟の自然観察会の光景



絶滅危惧種 (Endangered) クロツラヘラサギ (Black-faced Spoonbill) も定期的に飛来している。
(撮影：2018年10月7日：浜井秀明)
絶滅危惧種クロツラヘラサギも定期的に飛来している。



レンコン畑

吉野川はその地形にあわせて、漁業、農業など様々な産物が発達してきた。河口周辺の泥地で育するレンコンは、日本一の生産量である。



藍・吉野川河口の藍みと伝統
藍は吉野川が生んだ最大の産物である。藍染の原料である「アズキ」は「藍田」によって伝統的な方法でつくられている。

私たちは吉野川河口域のラムサール条約湿地登録をめざします。

とくしま自然観察の会

自然観察会をとおして身近な自然を見直すための活動をしている。吉野川河口干潟の価値や生物多様性保全の大切さを伝えるために、自然観察会やエコツアー、様々な市民調査、学校の環境教育の応援など普及啓発活動をしている。

団体名	とくしま自然観察の会		代表者名	世話人代表 井口利枝子
設立趣旨 ・ 活動目的	自分たちの住んでいる徳島の自然、身のまわりの自然をよく観て、よく識るための自然観察会を、定期的に関くことにより、一人でも多くの人に自然観察を通じて身近な自然環境を知り、人と自然のつながりを見つめ直すことの大切さや素晴らしさを伝えると同時に自然保護の仲間づくりのためのネットワークを広げることを目的にして、1994年4月に設立しました。			
活動内容	<p>身近な自然のことをよく知り、親しみ、守り、将来の子どもたちに豊かで素敵な自然とのかかわりを伝えるために次の活動をします。</p> <p>★コロナ禍、干潟に足を運べない子どもたちや吉野川の干潟のファンのみなさんのために、吉野川干潟の生きものの魅力を伝えるためにオリジナル動画をYouTube公開中です。子供向けムービー公開 動画 URL : https://youtu.be/RI4aX7IWWWhw</p> <p>★吉野川河口の未来をみんなで描こう！オンライン『吉野川河口みらい講座』を定期的に関催中 YouTube 公開しています。</p> <p>「底生生物からみた吉野川河口域の重要性」 https://youtu.be/3Lr36qY1k8Y</p> <p>「渡り鳥にとって吉野川河口域はどんなところ？」 https://youtu.be/z3fsxE1RWA1</p> <p>「吉野川で楽しむ！干潟の生き物ウォッチング」 https://youtu.be/s_Z4qSEI-N4</p> <p>★吉野川河口保全のためにクリーンアップ（干潟清掃活動）を定期的にして、シオマネキや干潟の生きものの安全な生息地を守ります。</p> <p>○おもに吉野川の干潟や小松海岸で定期的に関自然観察会を関催し、楽しみながら、水辺の生物多様性とその大切さを伝えています。</p> <p>○吉野川の干潟の自然や生きものの魅力を伝えるためにオリジナルムービーやパネルを作成して、出前講座をはじめています。</p> <p>○小学校、こども園、児童館などの環境教育活動のお手伝いをしています。</p> <p>○伝える活動（環境保全に関するコンサート、展覧会、学習会、シンポジウム、パネル展の関催・ガイドブックやリーフレットの作成）</p> <p>○専門家と連携して市民調査（環境調査、生物多様性、文化、歴史など「ひとと自然との豊かなふれあい」調査をします。</p> <p>○NACS-J 自然観察指導員の講習会など環境保全や環境教育に関するひとつづくりのためのセミナーや学習会の関催</p> <p>○「吉野川ひがたファンクラブ」および「しまねき探検隊」の呼びかけとネットワークづくり</p> <p>○インターネット等による情報発信</p>			
今後の取組	<p>身近な自然の価値を伝え、子どもたちや将来に豊かな環境を残すための楽しい場づくり、ひとつづくり、オンラインなど情報発信を積極的にします。</p> <p>★ 豊かな自然とひとの暮らしとのかかわりが深い、吉野川を未来に残していくために、四国初のラムサール条約湿地の登録をめざします。</p>			
活動場所（所在地）	徳島市南昭和町3丁目19-1 井口方			
※問合せ先	担当者名	井口 利枝子	TEL FAX	088-623-6783 (Fax 兼)
	E-mail	kansatsunokai@gmail.com	URL	https://www.shiomaneki.net